
2022年3月期第1四半期決算説明資料

2021年8月

稲畑産業株式会社

売上高： 1,626億円 前年同四半期は1,287億円

新型コロナウイルス感染拡大による落ち込みから回復し、増収

営業利益： 55億円 対前期比 + 151.2%

売上高の増加や営業利益率の上昇により、増益

経常利益： 64億円 対前期比 + 110.0%

営業利益の増加により、増益

親会社株主に帰属する
四半期純利益： 79億円 対前期比 + 294.4%

経常利益の増加や投資有価証券売却益の計上等により、増益

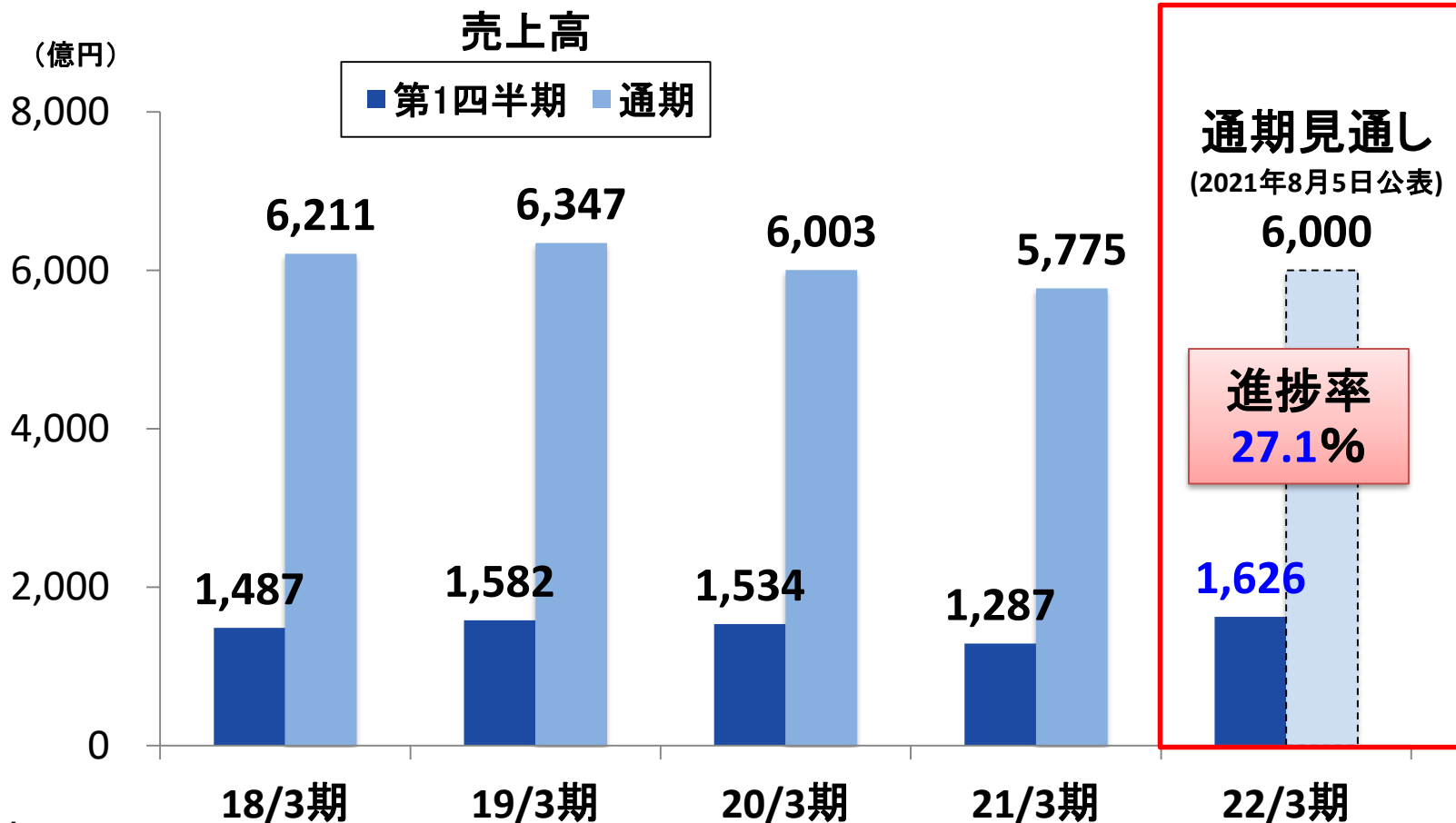
利益について、通期見通しを上方修正

(億円)

	21/3期 第1四半期	22/3期 第1四半期 (A)	対前年同期比増減		2021年5月11日 公表 通期見通し	2021年8月5日 公表 修正見通し (B)	達成率 (A)/(B)
			金額	%			
売上高	1,287	1,626	+339	-	6,000	6,000	27.1%
営業利益	22	55	+33	+151.2%	145	160	35.0%
経常利益	30	64	+33	+110.0%	150	170	38.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	20	79	+59	+294.4%	140	160	49.8%
為替レート USD/円	107.63	109.52	+1.89		105.00	110.00	

※22/3期1Qから、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しており、同会計基準の適用により、売上高は51億円減少しています。

売上高の推移

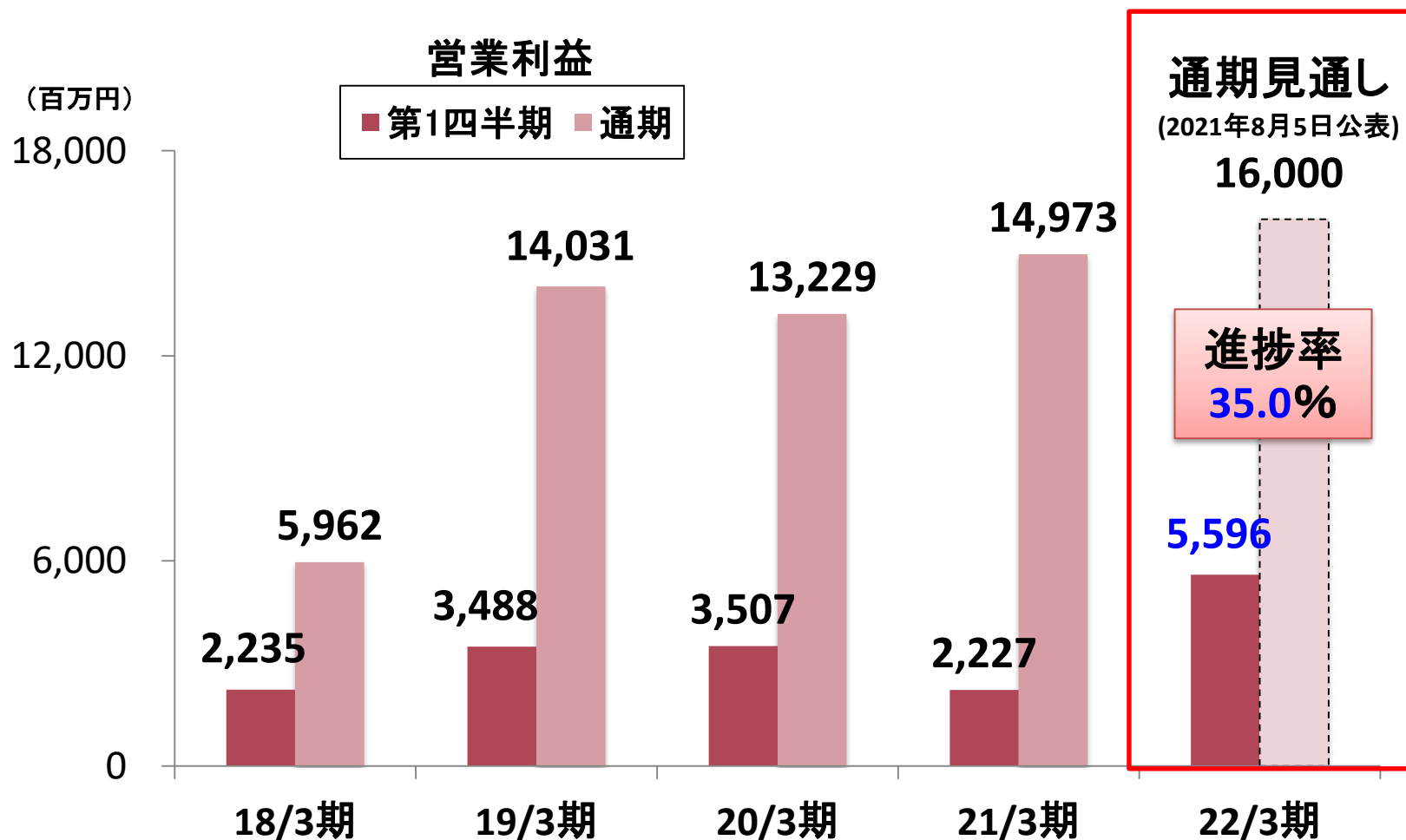


(参考)

		18/3月期	19/3月期	20/3月期	21/3月期	22/3月期
為替レート USD/円	第1四半期	111.09	109.10	109.90	107.63	109.52
	通期	110.85	110.92	108.70	106.10	(注) 110.00

※22/3期1Qから、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しており、同会計基準の適用により、(注)公表時での想定売上高は51億円減少しています。

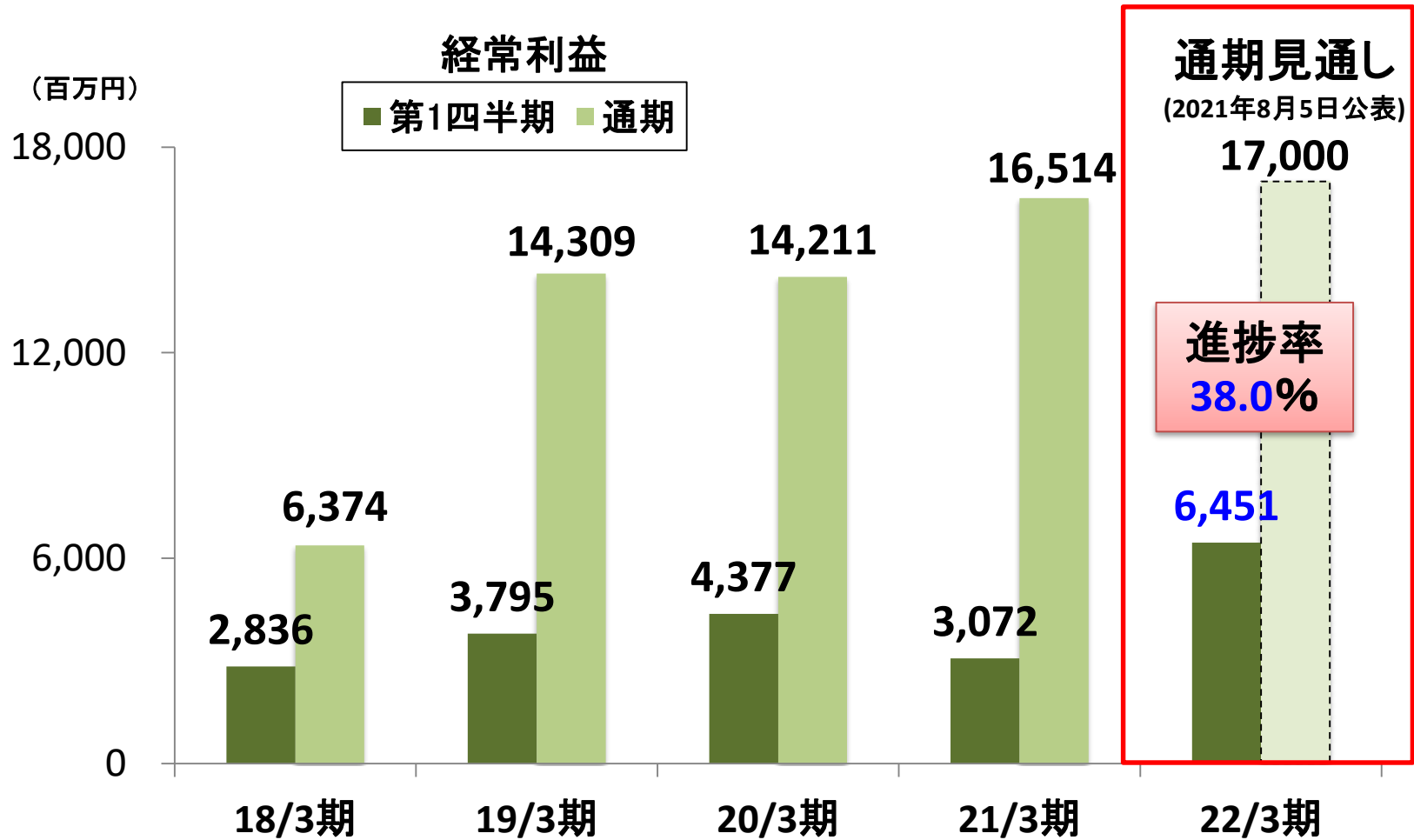
営業利益の推移



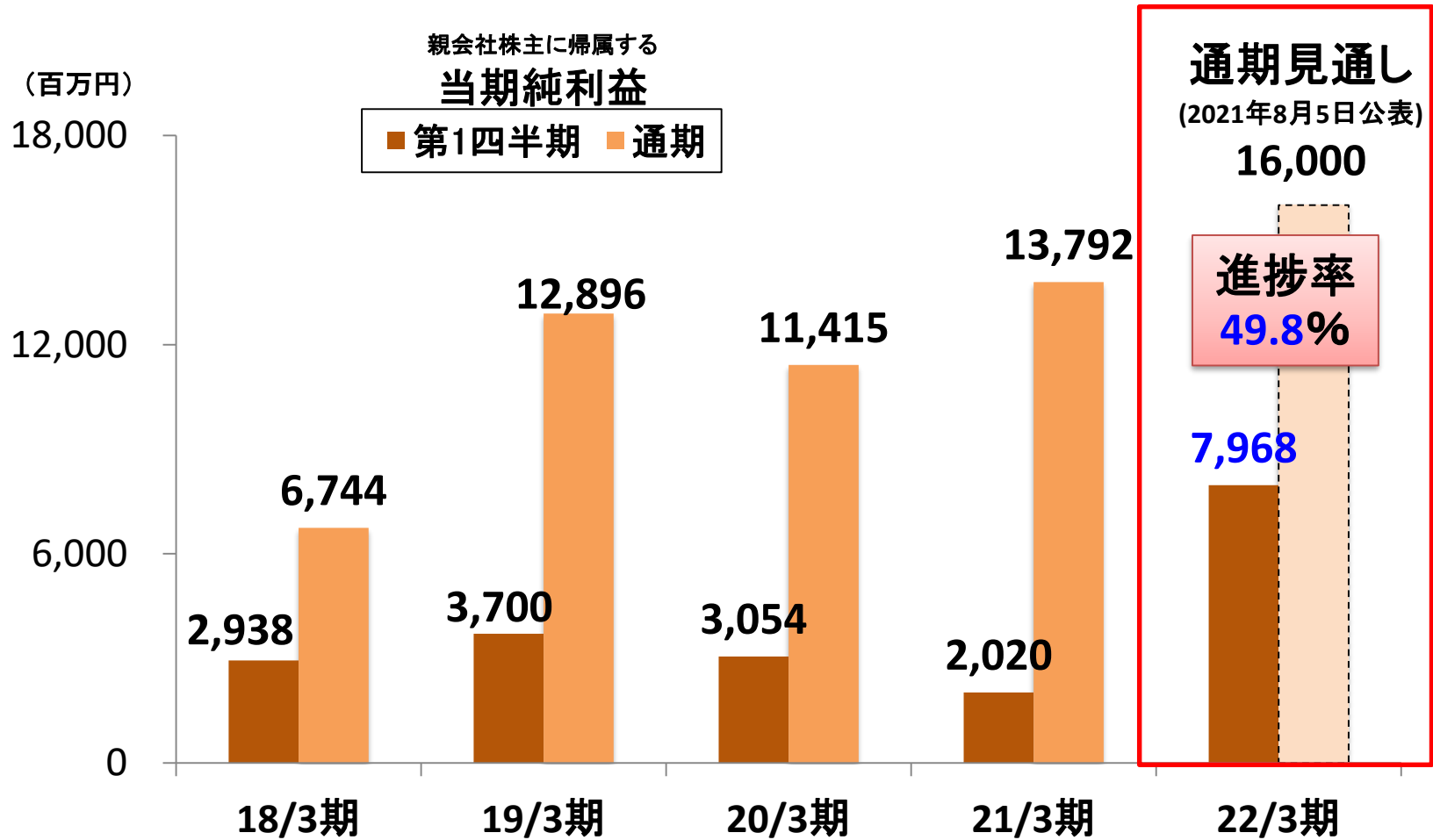
※18/3期 欧州子会社において貸倒引当金を計上
※21/3期 欧州子会社において貸倒引当金の戻入を計上

1Q 9億円、通期 66.5億円
通期 7.5億円

経常利益の推移



親会社株主に帰属する当期純利益の推移



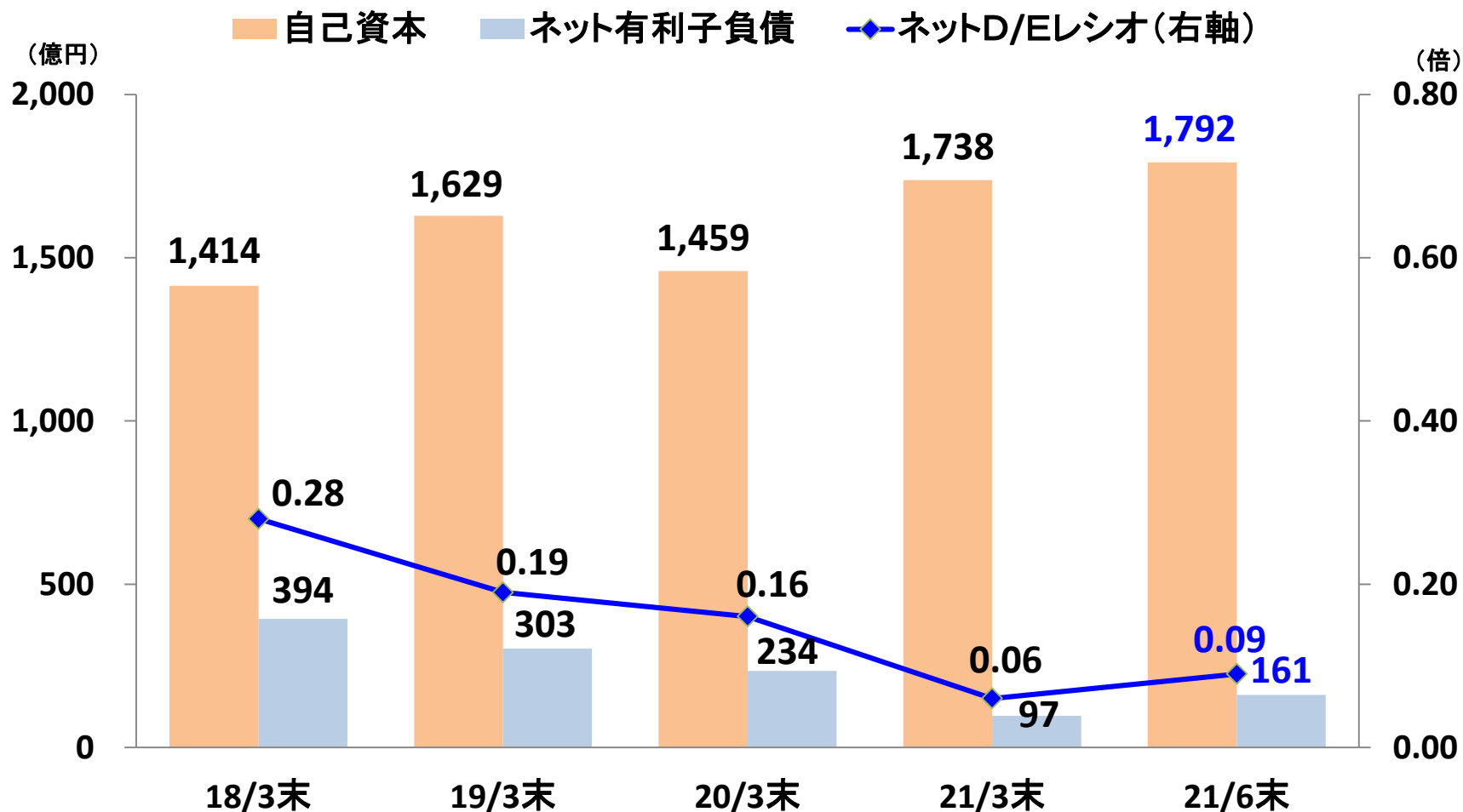
※22/3期1Qの投資有価証券売却益は46.6億円

- ・ビジネス回復による販売増により売上債権、棚卸資産および短期借入金が増加
- ・投資有価証券売却益等による利益剰余金の増加により、株主資本が増加

(億円)

(資産)	21/3末	21/6末	増減	(負債/純資産)	21/3末	21/6末	増減
現金及び預金	314	303	△11	支払手形及び買掛金	1,041	1,059	+18
受取手形及び売掛金	1,627	1,674	+47	短期借入金	337	389	+52
棚卸資産	541	630	+88	その他流動負債	127	138	+11
その他流動資産	86	100	+14	長期借入金	74	75	+0
有形固定資産	143	144	+0	その他固定負債	193	196	+2
無形固定資産	29	28	△1	株主資本	1,291	1,344	+52
投資有価証券	715	717	+1	その他の包括利益累計額	446	448	+2
その他固定資産	73	73	+0	非支配株主持分	19	19	△0
資産合計	3,532	3,672	+140	負債純資産合計	3,532	3,672	+140
流動比率	170.6%	170.6%		自己資本比率	49.2%	48.8%	

自己資本・ネット有利子負債・ネットDER推移



※ 自己資本＝純資産－新株予約権－非支配株主持分

ネットD/Eレシオ＝(有利子負債－現預金)/自己資本

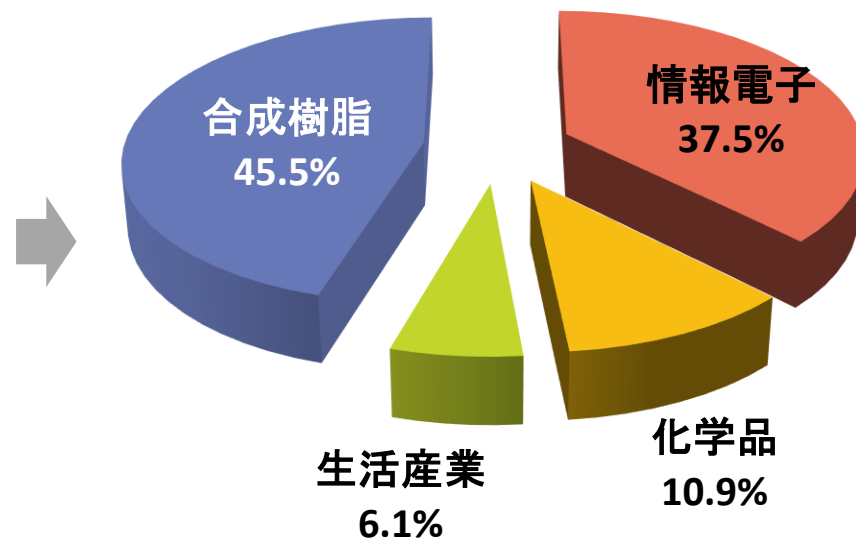
事業セグメント別 売上高

- ✓合成樹脂事業は、前年同期の世界的なロックダウンの影響から回復し、増収
- ✓化学品事業は、新型コロナウイルス感染拡大による落ち込みから回復し、自動車向け原料販売が伸長

売上高

(億円)

	21/3期 第1四半期	22/3期 第1四半期
情報電子	529	610 (634)
化学品	153	177 (192)
生活産業	80	98 (105)
合成樹脂	522	739 (745)
その他	0	0
合計	1,287	1,626 (1,678)



(億円)

	情報電子	化学品	生活産業	合成樹脂	その他	合計
日本	245	125	67	238	-	677
東南アジア	43	26	0	310	-	381
北東アジア	283	16	2	157	-	460
米州	20	3	25	27	-	76
欧州	17	5	3	3	-	30
顧客との契約から 生じる収益	610	177	98	739	-	1,626
その他の収益	-	-	-	-	0	0
外部顧客への 売上高	610	177	98	739	0	1,626

※顧客との契約から生じる収益は、販売元の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。

事業セグメント別 営業利益

前年同期のロックダウンからの販売回復により、営業利益率が上昇

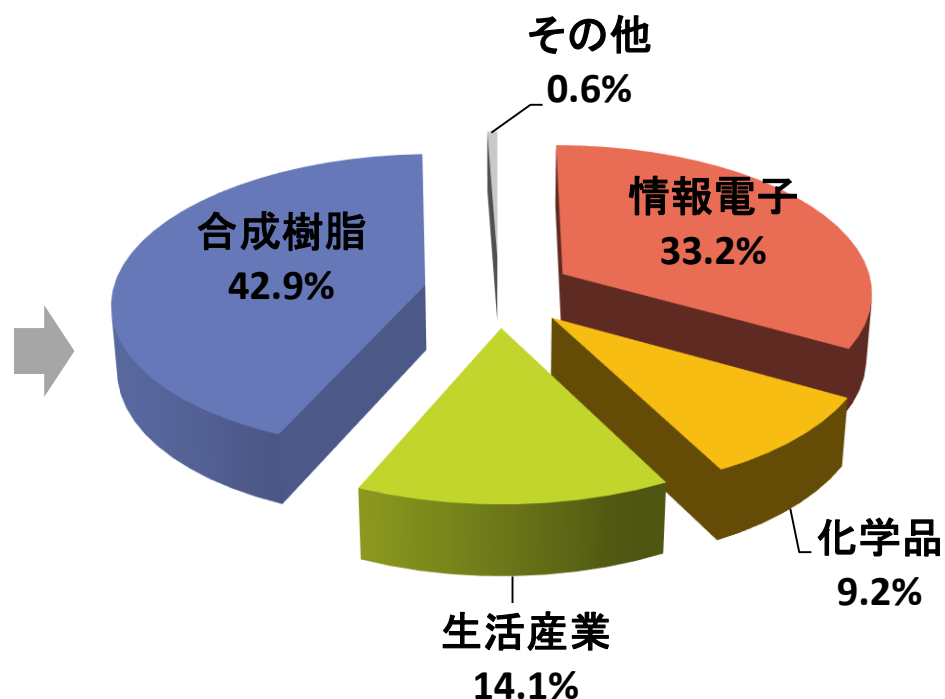
✓合成樹脂事業は、東南アジアを中心に自動車分野が急回復

✓生活産業事業は、回転寿司向け加工品や米国ではシーフード商品の販売が好調

営業利益

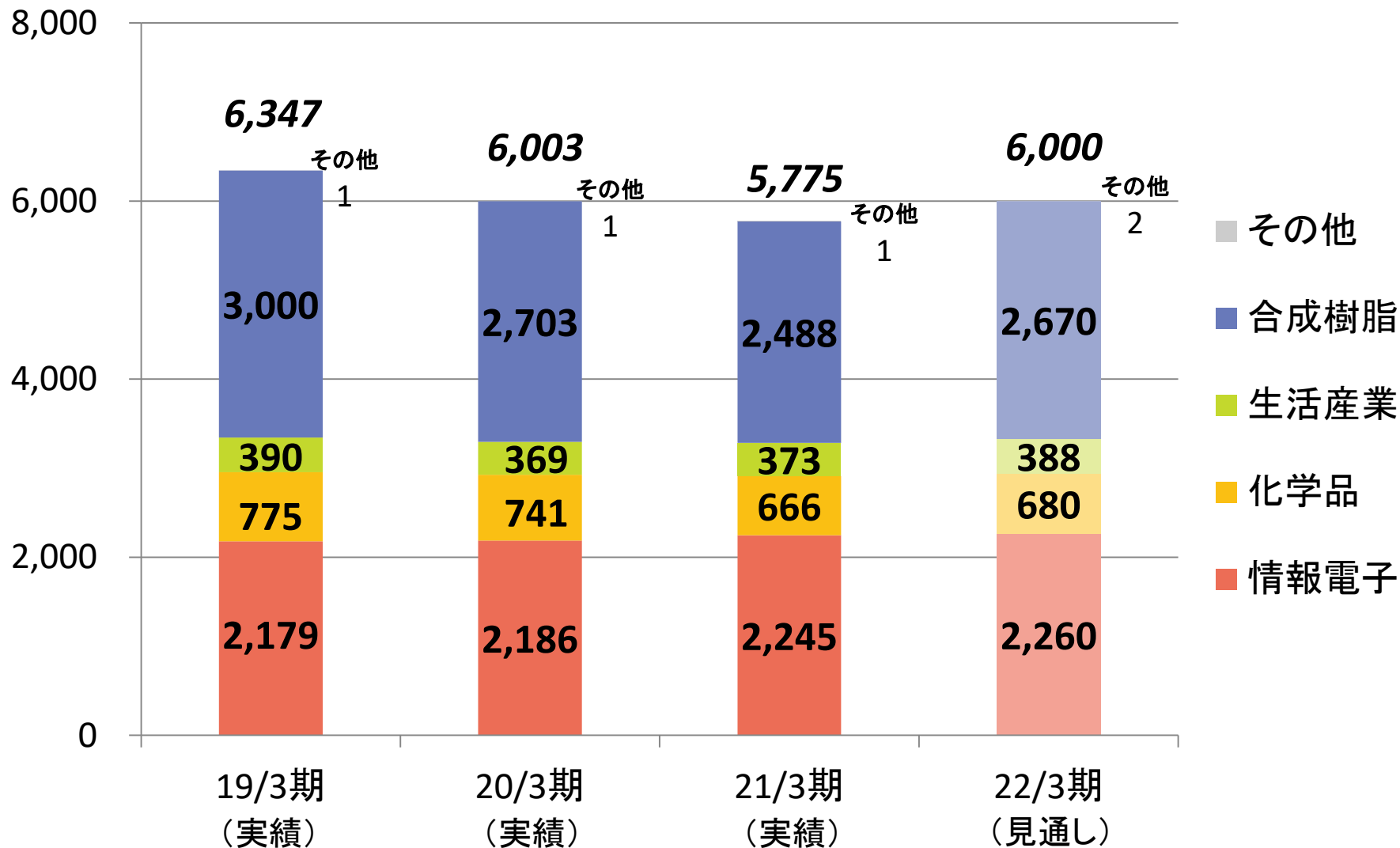
(百万円)

	21/3期 第1四半期	22/3期 第1四半期	前年同期比 増減率
情報電子	1,188	1,857	+56.2%
化学品	226	518	+129.4%
生活産業	309	788	+154.9%
合成樹脂	470	2,399	+409.8%
その他	32	32	+0.6%
合計	2,227	5,596	+151.2%



事業セグメント別 売上高

(億円)

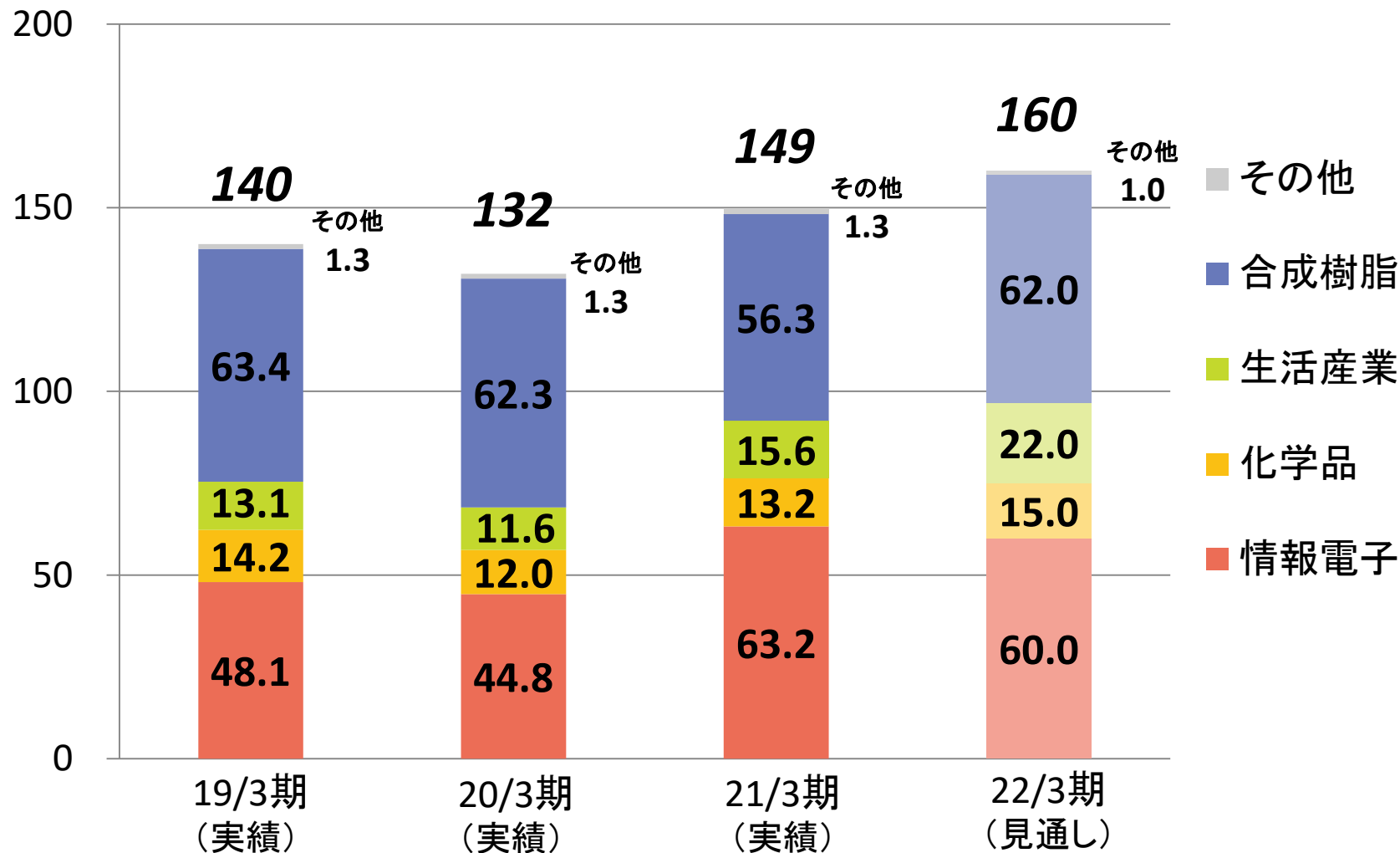


※20/3期より、住環境事業は化学品事業に統合しています。19/3期の実績は変更後の区分に基づき作成しています。

※22/3期(見通し)は、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等適用後の売上高を表示しています。

事業セグメント別 営業利益

(億円)



※18/3期 欧州子会社において貸倒引当金を計上 情報電子 59.0億円、化学品 7.5億円 ※21/3期 貸倒引当金の戻入を計上 情報電子 7.5億円
 ※22/3期通期見通しを上方修正 145億円(2021年5月11日公表見通し)→160億円(2021年8月5日修正見通し)
 ※20/3期より、住環境事業は化学品事業に統合しています。19/3期の実績は変更後の区分に基づき作成しています。

利益還元の方針

累進配当の導入

1株当たりの配当額については前年度実績を下限とし、減配は行わず、継続的に増加していくことを基本とする

- 総還元性向の目安としては当面30～35%を継続
- 自己株式取得は機動的に実施

2021年3月期(実績)

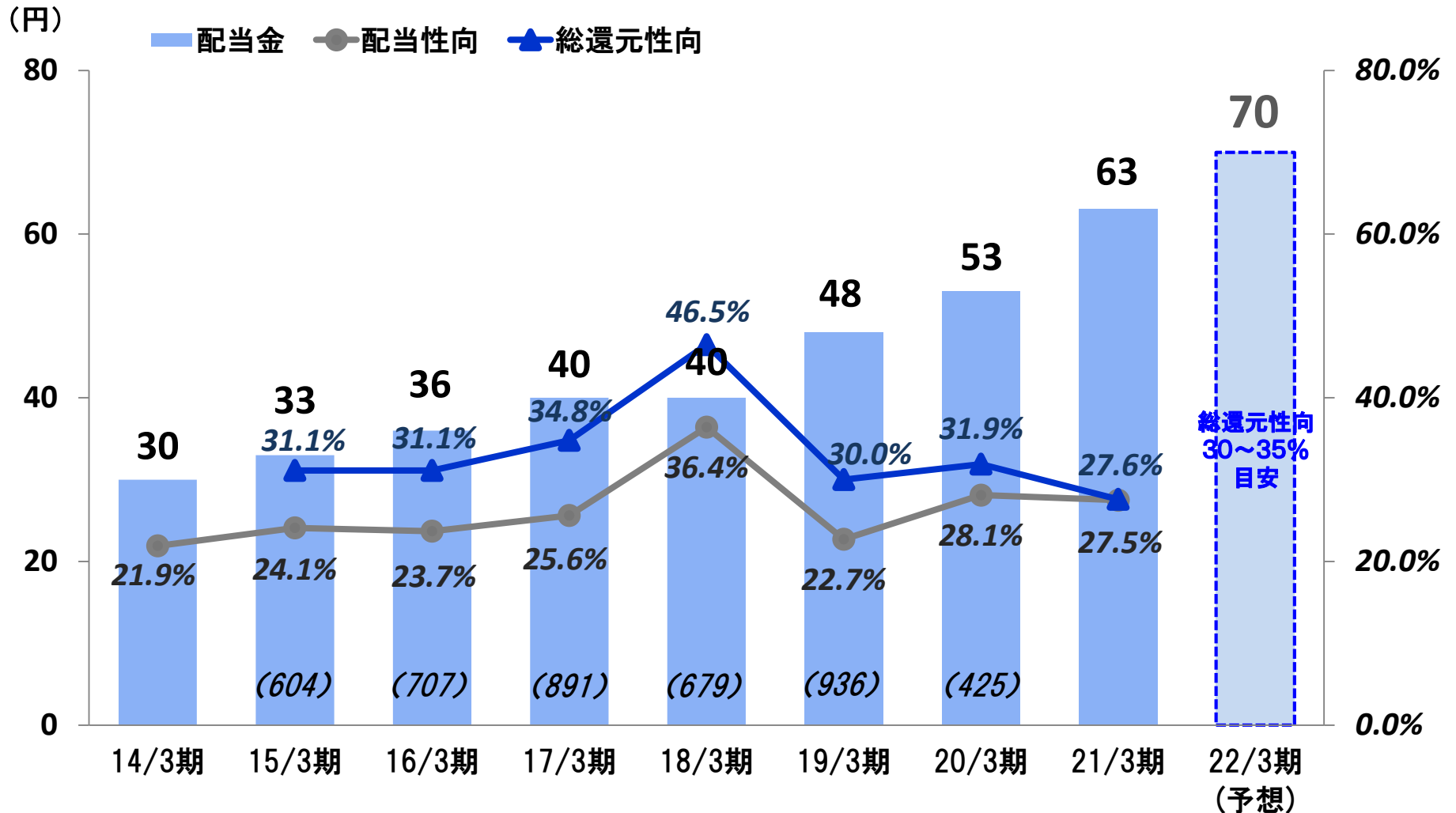
1株当たり配当金 : 63円 (中間20円・期末43円)
総還元性向 : 27.6% (配当性向 27.5%)

2022年3月期(予想)

1株当たり配当金 : 70円 (中間30円・期末40円)

株主への利益還元②

1株当たりの年間配当金と株主還元指標の推移



※棒グラフ下部のカッコ()内は、期中に実施した自己株式取得額(百万円)です。

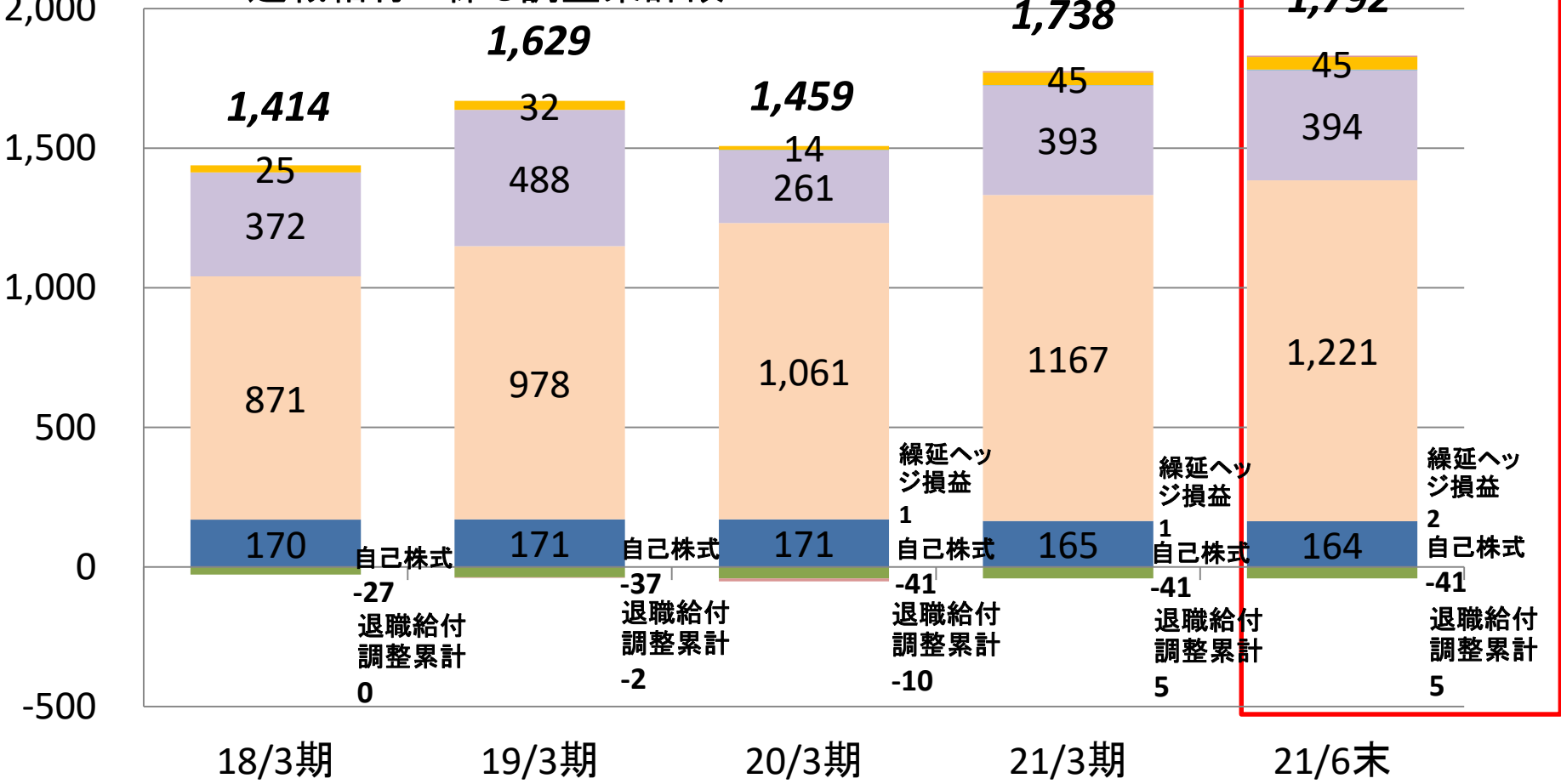
連結子会社等の状況

	社数		
	国内	海外	合計
連結子会社	7	37	44
（内 製造・加工業）	（5）	（17）	（22）
持分法適用関連会社	4	1	5
（内 製造・加工業）	（2）	（1）	（3）
合計	11	38	49
（内 製造・加工業）	（7）	（18）	（25）

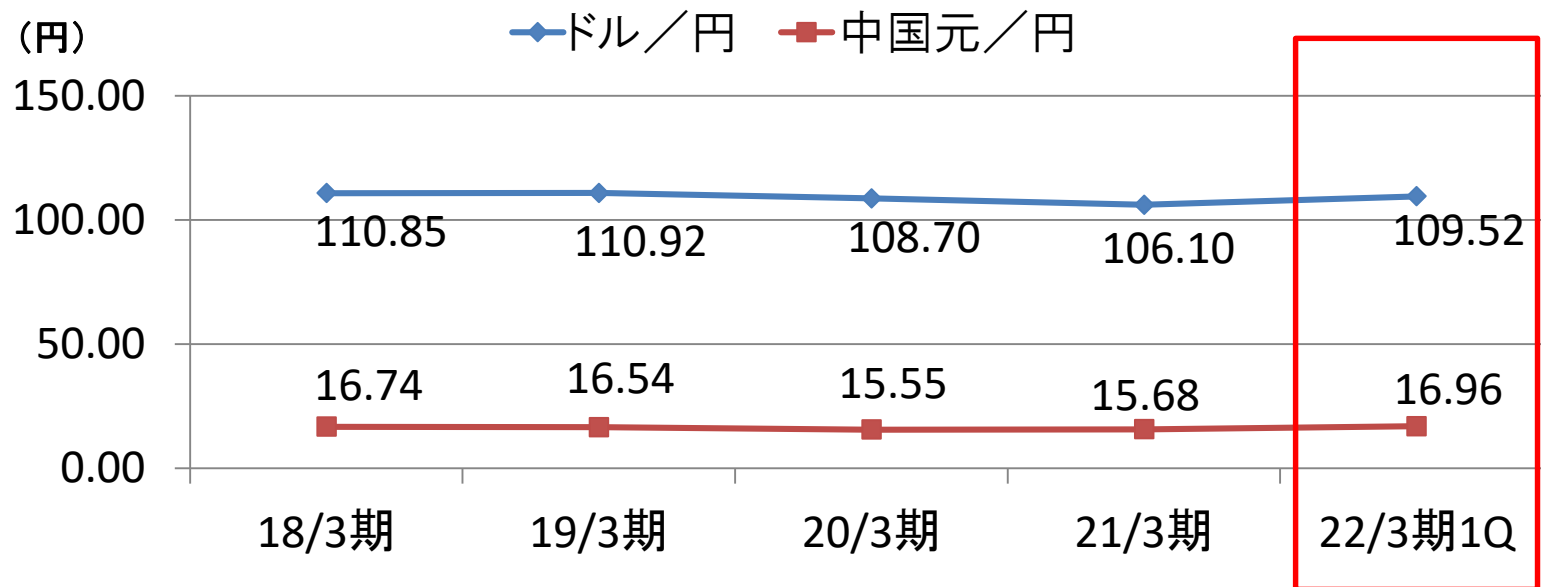
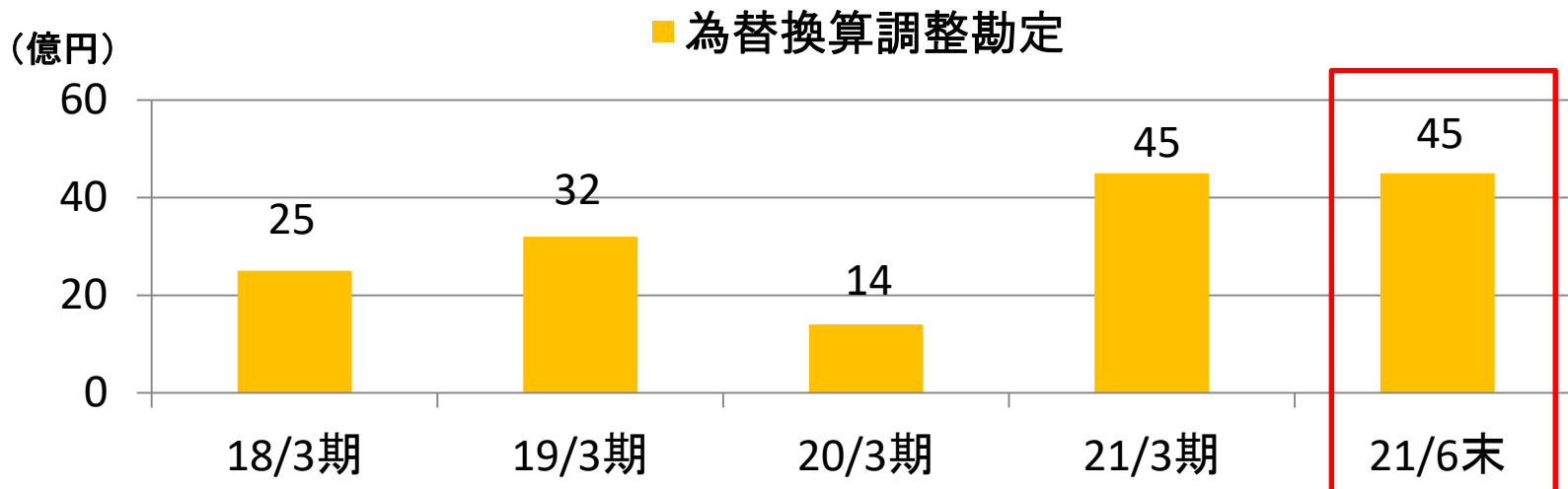
(参考) 自己資本の推移

- 資本・資本剰余金
- 自己株式
- 繰延ヘッジ損益
- 退職給付に係る調整累計額
- 利益剰余金
- その他評価差額金
- 為替換算調整勘定

(億円)
2,000



(参考) 為替変動による為替換算調整勘定への影響



□ IRに関するお問い合わせ先

稲畑産業株式会社 財務経営管理室 IR企画部

E-mail inabata-ir@inabata.com

◆将来の見通しに関する注意事項

本資料にて開示されているデータおよび将来に関する予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくものです。これらのデータや将来の予測は、不確定な要素を含んだものであり、将来の業績等を保証するものではありません。

◆数値の表示に関して

資料内の億円単位、百万円単位の数値は、それぞれ億円未満、百万円未満を切り捨てておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。